

第 109 回監視・評価検討会 本日の確認事項

原子力規制庁

議題1. ALPS 処理水海洋放出の進捗状況

- ・ 海域モニタリングの通常測定において、放出口の上付近に比べて外側の分析値が高い傾向が見えるため、東京電力の今後の確認(データの蓄積、シミュレーション等)を注視していく。(原子力規制庁監視情報課)
- ・ 東京電力の分析の妥当性を見るためには、原子力規制庁の独立分析だけではなく、各種パラメータの数値も含めて分析のプロセスも継続的に確認すべき。(井口委員)
- ・ 上流水槽での希釈後水の放出前の分析は、しばらくは続けるべきではないか。(蜂須賀委員)

議題2. 1号機PCV内ペDESTALの状況を踏まえた対応状況

- ・ なし

議題3. ALPS スラリー脱水設備に関する検討状況

- ・ 固化処理方法について、セメント固化について技術的な課題がある中で、複数の技術候補をフラットに議論すべきでないか。(井口委員)
- ・ 脱水物の長期的な挙動のコールド試験を行うべき。(山本委員)

- ・ 設計変更について、抜けがないようにレビューを行ってほしい。スラリーの拔出エリアについても適切な閉じ込め設計をしてほしい。(高坂オブザーバー)

議題4. 汚染水対策の現状と今後について

- ・ 海側対策を含めて、長期的に目指す姿とスケジュール感を示すこと。(橘高委員)
- ・ 海側対策を考える上で、2.5m盤の汚染状況(低濃度の場所含む)と時間による汚染の変動を示すこと。(徳永委員)
- ・ 凍土壁が機能しなくなる十分に前から、代替策を検討し、適時に運用できるようにすること。(田中(清)委員、蜂須賀委員)

議題5. その他

- ・ 2号機試験的デブリ取り出しについて補完的に検討しているテレスコ式装置については、実施計画の申請について検討し、考えを早急に示すこと。(原子力規制庁)

・ 本資料は、検討会において認識共有した内容をもとに作成し、ホームページに掲載しています。
なお、会議の進行と同時並行で作成しているため、正確な表現ではない部分があります。